



東公民館

分館行事から

第29回鶴吉ふるさと祭り

つるが舞い降り、いちごが熟れるころ、鶴吉では毎年、文化祭を「ふるさと祭り」と銘打ち開催しています。これは、鶴吉にはいちご生産農家が多いことから、収穫時期の3月にいちご祭りとして行われてきたもので、第29回の今回は3月11日に公民館とその周辺広場で実施しました。

目玉は、なんととっても新鮮な採れたていちごの即売会。あつという間の完売でした。また、肉うどん、いなりずし、おでん、焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、ポップコーン、綿菓子、ジュース類、花鉢物、余剰品販売など多彩なバザーも大盛況でした。さらに、有志の栽培した巨大大根の重量当てクイズも賑わいました。正解の値は17・6kgでしたが上位1〜3位は、ほぼ完璧に的中しており、その慧眼に驚かされました。また、巨大大根が希望者にプレゼントされ、喜んで持ち帰る人が

続きました。メインの演芸大会では子ども民謡、カラオケ、大人民謡、日本舞踊など、多くの出演者が自慢ののどや腕前を披露され、さらに町長をはじめ飛び入り参加も多数、出演。大きな盛り上がりの中で幕を閉じました。

さて、鶴吉文化祭は来年、記念すべき第30回目を迎えます。いち早くふるさとのことを思い、考えた先輩各位の英知とご労苦に、ただ感謝の誠を捧げます。最後に、各般にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



▲演芸コーナー

第24回徳丸文化祭

前の夜からの雨も上がり、3月11日の朝はからりと晴れ上がりました。冬の名残りの北風は多少ありましたが、前日、皆で準備したテントや紅白の幕は青空のもと、さわやかに翻っていました。

中学生が主演する獅子舞に始まり、来賓の挨拶、テープカットも終わり、いよいよ文



▲バザーコーナー



▲展示コーナー

化祭の開始。地区住民による餅つき、大きい爆発音に驚くパットライス、児童が自分で思い思いに作る綿菓子、焼き肉コーナー、クッキーや野菜販売など多彩な出店で賑わいました。またテントの中でコーヒーやうどん、いなり寿司を前に互いに懇親を深め、歓談してひとときを過ごしました。屋内に目を移せば、園児、小中学生の力作絵画、二階には趣味の域を出た生花、盆栽、書道、絵手紙、陶芸、手芸、絵画などずらりと展示され、皆の心を和ませました。昼からは日頃の鍛錬の発表会として幼児、小学生の歌、コーラス班、カラオケ班、民謡班と続き、最後に豊年踊りで締めくくりました。反省会で来年の更なる成功を願って徳丸文化祭は終了しました。



▲餅つきコーナー



▲みどり会コーナー



▲お餅コーナー

公民館の
5月行事予定

北公民館

22日(火) 19時

岡田校区青少年育成会総会